

# 医療法人 芙蓉会 南草津病院

## 訪問リハビリテーション情報誌

# みなりハ

第9号

発行日2014. 4

春のさわやかな風を迎え、新年度が始まりました。この季節は入学式や入社式など、新しくスタートを切る季節でもあります。さて、この度“みなりハ”も新たにリニューアルし、南草津病院と訪問リハビリの『つながるリハビリテーション』をテーマに、当院の取り組みについてご紹介したいと思います。

当院は回復期リハビリテーションと、訪問リハビリテーションを併設している病院となっています。併設している利点としては、入院中にリハビリしたことが退院後に自宅でも行えるよう、入院中より訪問スタッフによるリハビリの見学や代診(病院スタッフの代わりにリハビリを行うこと)、病院スタッフと訪問スタッフによるミーティングがスムーズに行えることです。

下の写真は、『つながるリハビリテーション』の様子です。これからも病院・訪問スタッフでチーム一丸となり、皆様の生活をサポートしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

### (訪問スタッフによる入院中のリハビリ見学)



入院中に練習した内容が、自宅に戻られてもしっかり行えるよう、訪問スタッフが入院中よりリハビリの見学をしています。

### (病院スタッフと訪問スタッフのミーティング)



患者様のお身体や生活動作の状態、リハビリの様子、退院後の生活目標など、今後に向けて必要な情報共有を行います。

## 「入院中より明確な目標を持つということ」

今回は入院中に練習したことを、自宅でも頑張っておられるYさんをご紹介します。Yさんはご病気により左手足にマヒが生じ、南草津病院の回復期病棟に入院されていました。とても頑張り屋の方で、南草津病院に入院中は「何としても歩きたい!」という気持ちから、装具をつけて歩く練習をしたり、もともと料理がお好きだったことから、釘をさしたまな板で食材を固定し、右手だけで食材を切る練習もされていました。

実際に退院後は車いすに座り、食卓でIH調理器を使ってご家族と一緒に煮物を作っておられました。また、煮物のほかにもジャムやお正月の料理など、毎日ではないものの料理を続けて作っておられます。お孫さんもおばあちゃんの懐かしい味を口にされ、大変喜んでおられたそうです。

今回Yさんの訪問リハビリを始めるにあたり、訪問スタッフとしても、退院後に訪問リハビリを利用されることが早くから決まっていたので、入院中からリハビリ場面を見せてもらうなど、退院後に何をしていきたいかが、事前に把握することが出来て良かったと思っています。

これらのことが出来ているのは、ご家族の協力があることはもちろん、Yさん自身がやる気をもって継続されていることが一番大きな理由だと感じています。また、入院中から自宅に帰って何がしたいか、目標をもってリハビリをされたことも大きな理由だと思います。入院中より明確な目標をもっておられたため、私自身、訪問リハビリを始めるにあたり、とても介入しやすかったのを覚えています。

「明るく、意欲を持って」ということは簡単に出来ることではありません。

Yさんのように「自宅に帰ったら〇〇なことがしてみたい」といったことがあれば、担当スタッフに声をかけて下さい。目標達成に向かって一緒に取り組ませて頂きます。

※下の短歌はYさんが冬の入院中に作られた歌と、自宅で春を迎えるにあたり作られた歌です。心情の移り変わりも歌に現れていますので掲載させて頂きました。

『この冬は 寒さ知らずに 過ごしたが 床(とこ)の苦しみ ひとしお身にしむ』

『春近し うぐいすの声 床(とこ)のなか 外に出て聞く あしたよりかな』

## お知らせ

☆2月より新たに訪問スタッフが増えました!

皆さまこんにちは。2月より訪問リハビリの一員となりました、作業療法士の前田浩二と申します。これまで約4年間は院内で働いていました。訪問リハビリは始まったばかりで、まだまだ緊張した日々を過ごしていますが、「人生日々初縁」を合言葉に一日一日新しい気持ちで、1つずつ利用者様の良い面を見つけ、陰ながらサポートしていければと考えています。これからもよろしくお願ひします。

☆ホームページで「みなりハ」が閲覧できるようになりました!

これまで定期的に皆様のお手元に配布しておりました「みなりハ」が、南草津病院のホームページから閲覧できるようになりました。“南草津病院” → “リハビリについて(・訪問リハビリ)” → “みなりハ新聞”の順番で進めて頂くと見ることが出来ます。